

【別紙様式】

平成28年度 津山市立（院庄）小学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12月末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	国語・算数において、自分の考えやその理由を「書く」問題で、題意に沿って書き切ることができない児童が多くみられる。	
学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）		進捗状況	3学期及び来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全体の取組	○問題データベースを活用し、「朝学習」や「ふり返り学習」の時間に苦手な部分の復習をしたり、家庭学習として取組んだりする。	C	○週末の宿題や「高学年ふりかえり学習」の時間、月曜日の朝学習では、問題データベースの国語・算数のプリント(A問題・B問題)を必ず活用する。 ○家庭学習が定着しにくい児童には、放課後等で個別指導(3学期) ○その授業でポイントとなるキーワードを使ったり、字数等の条件を設定したりして学習のふりかえりをし、まとめたものを交流し合う場面を多く設定する。
①	○家庭学習の手引きを活用し、家庭学習100%提出の取組を継続する。	B	○宿題の提出率をさらに上げるため、学校で数問の宿題をしてきっかけをつくったり、解き方を確認したりしてから帰宅できるようにする。 ○家庭学習時間点検カードを実態に合わせ、毎日提出。(90%以上)
②	○たてわり班活動をベースに、下級生を思いやりたり人のために働いたりする経験を積み、その行動を価値づけすることで、児童の自己有用感をさらに高めていく。	B	○朝学習での異学年での教え合い活動を実施することで、自己有用感を高めたり、児童相互のふれあいを促進したりする。 ○児童アンケートを毎学期末に実施。 (「自分のいいところ」を全児童が5つ以上言えるようにする。)
③	○読み聞かせボランティアと協力しながらさまざまな内容の本とふれあう機会をより多くもつとともに、落ち着いて読書に取り組む経験を積ませる。	A	○図書室で借りた本だけでなく、家で読んだ本や読み聞かせボランティアに読んでもらった本の名前を読書カードに記録させることで、目標をもって一人一人が年間100冊以上の読書量を達成できるようにし、さまざまな文章にふれさせたり、語彙を増やしたりする。
<p>※進捗状況・「S：目標を大きく上回った(100%を超えている)」「A：目標を十分達成できた(85%以上100%未満)」「B：目標を概ね達成できた(70%以上85%未満)」「C：目標をある程度達成できた(50%以上70%未満)」「D：目標をあまり達成できなかった(30%以上50%未満)」「E：目標を達成できなかった(30%未満)」</p>			